



氏子の男性たちによって赤米の田植えを行う様子。収穫は9月中旬ごろ



田植歌に合わせて優雅な舞いを披露する氏子の夫婦

**種子島の稲作の歴史を伝え
五穀豊穰を願う祭り**

種子島で古代から栽培されてきた赤米の苗を植え、その年の豊作を祈る伝統的な神事「種子島宝満神社の御田植祭」。神田に隣接した御田おたの森と呼ばれる小高い山で赤米の苗などを供えておはらいをした後、お畦せまちと呼ばれる神田で、田植歌と太鼓に合わせて男性たちが田植えを行います。田植えの後は、氏子の中の一組の夫婦が苗を持って



赤米は御神米として奉納。種子は保存され、祭りとともに伝承されています。

御田植舞を奉納し、手にした苗を舟田に植えて神事は終了。最後に赤米のおにぎりや煮しめなどを食べる直会なほらいがあり、住民同士で地域の発展や安全を語り合います。直会で提供されるものを食べると、1年間無病息災に過ごすことができるとされています。

種子島の稲作の歴史を伝承する祭りとして、平成28年から国指定無形民俗文化財に指定されています。



【南種子町】

種子島宝満神社の
御田植祭おた うえま まつり

国指定無形民俗文化財

毎年、春に豊作を祈願して行われる郷土芸能「種子島宝満神社の御田植祭」をご紹介します。

祭りの舞台

宝満神社

開催日： 毎年4月3日(今年は開催予定)

住 所： 熊毛郡南種子町荃永3786

駐車場： 10台(たねがしま赤米館)

TEL： 0997-26-1111
(南種子町教育委員会)

